

**支部だより****《北海道支部》****神奈川歯科大学同窓会北海道地区連合会 総会報告**

梅雨のない北海道は6月が1年中で最も過ごしやすい季節です。そんな中、平成15年6月28日、第33回の北海道地区連合会の定例総会がアートホテルズ札幌において執り行われました。総会に先立ち、恒例の親睦ゴルフコンペが行われ、好天の中、多数の会員が思い思いのプレーで日頃のストレスを発散し、交友を深めました。

今回の総会は我が北海道地区連合会にとって、3年おきの執行部改選の年に当たります。また、去る4月の統一地方選挙で2回生の角谷隆司先生が道議会議員に当選される快挙を成し遂げ、その余韻の残る中での開催と相成りました。

総会には、遠くは稚内、函館、網走、釧路から会員の半数近くに当たる70名以上の参加があり、本部より藤田晃会長と齋藤元理事の参加を得て、会は一層、盛り上がりました。総会は、中川幾夫会長（2回生）の挨拶に始まり、報告事項、議決事項、協議事項等を滞りなく終了し、新しく、小松始先生（4回生）が会長に選出されました。

総会の中で、藤田晃会長のご挨拶があり、同窓会の現況報告と今後の活動のオリエンテーションを丁寧に説明していただき、バイタリテイ溢れる同窓会というものを力強く印象付けられました。しかし、最近不況からか退会される会員も多いと憂いておられ、我々会員も一考せざる

をえないことも併せて痛感いたしました。

総会終了後、恒例の学術講演会が行なわれました。本学歯科保存学教授、寺中敏夫先生による「再石灰化と接着」をテーマとした講演で、歴史的背景から今後の展望までスライドを交えた貴重なものでした。同時に神奈川歯科大学附属横浜クリニックの現状についても触れられ、歯科のみならず医科の先生方の素晴らしい経歴、同病院の最新設備にも言及され、寺中先生の並々ならぬ思い入れを感じ取る事ができました。

講演会終了後、ホテル内の懇親会場へと席を移し、挨拶に続き、小松始新会長から中川前会長へ4期12年間の労をねぎらう感謝状が贈られました。懇親会には藤田会長、寺中先生、齋藤理事もご出席され、旧交を深められ、楽しい会になりました。その後は道内一の歓楽街、ススキノ方面に各々繰り出して行きました。

広報部 金山 直樹

